

# 9月 外国人観光客の売上高・来店動向

平成22年10月13日

■ 調査対象店舗 : 21社41店舗 (外国人観光客誘致部会委員店)

■ 調査品目 : 主力商品である化粧品・食品等は、免税手続き対象外のため含まれません。

## 1.免税手続きベースの売上および対前年比

◆ 売上高総額 (41店舗) …………… 13億7,315万円余 (1店舗平均:約3,349万円)

◆ 売上高前年比 (41店舗) …………… 118.7% (店舗数調整後)

## 2.免税手続きベースの購買客数および対前年比

◆ 購買客数合計 (41店舗) …………… 21,730人 (1店舗平均:530人)

◆ 購買客数前年比 (41店舗) …………… 116.4% (店舗数調整後)

## 3.免税手続き一人当たりの購買単価

◆ 一人当たりの購買単価 (41店舗) ……………63,192円

◆ 一人当たりの購買単価前年比 (41店舗) ……………101.9% (店舗数調整後)

## 4.外国人観光客に人気のあった商品

第1位 婦人服 (バーバリーブルーレーベル、アニエスb、ワンピース、カットソー)

第2位 婦人服飾雑貨 (婦人靴、アクセサリー、ハンカチ、ストッキング)

第3位 化粧品 (資生堂、SKII、アルピオン、ファンケル)

第4位 ハイエンドブランド (エルメス、フェンディ、ルイ・ヴィトン、プラダ)

第5位 子供服・雑貨 (パイプキッズ、ミキハウス、肌着)

- ◆ 今月は、ハイエンドブランドの纏め買いが目立った。(札幌、東京、大阪)  
また、毛皮や宝飾品の大口もあった。(東京、福岡)
- ◆ 相変わらず、台湾の方には、アニエスb・ボヤージュやバーバリーブルーレーベルの人气が高く、中国大陸の方には、プラダ、ルイ・ヴィトン等のハイエンドブランドの人气が高い。  
資生堂は、台湾、中国ともに人气が高い。(名古屋)
- ◆ 中国発のクルーズ船が連日寄港しているが、ほとんどのお客様が韓国籍の方で日帰りの日程になっている。そのため、高額品の購入の他、日用品をお求めになる傾向が高い。(福岡)  
6割近くが中国からのクルーズ観光であった。夏休みも終わり、子供連れよりも年配の方が目立っており、男性客による高額時計の購入が多かった。(福岡、熊本)

## 5.免税手続きカウンターの来店国別順位

第1位： 中国本土    第2位： 台湾    第3位： 韓国    第4位： 香港

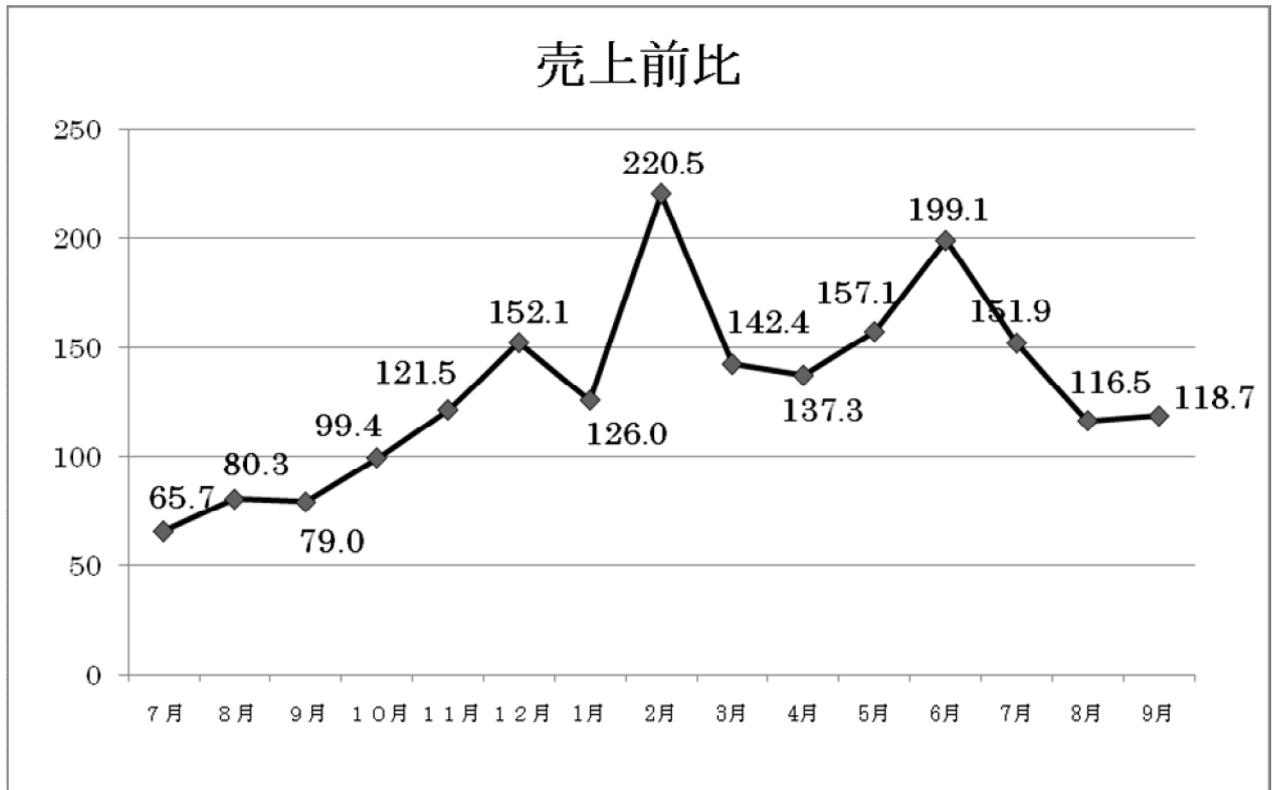
第5位： シンガポール    第6位： アメリカ    第7位： マレーシア

## 6. 今月の概況他

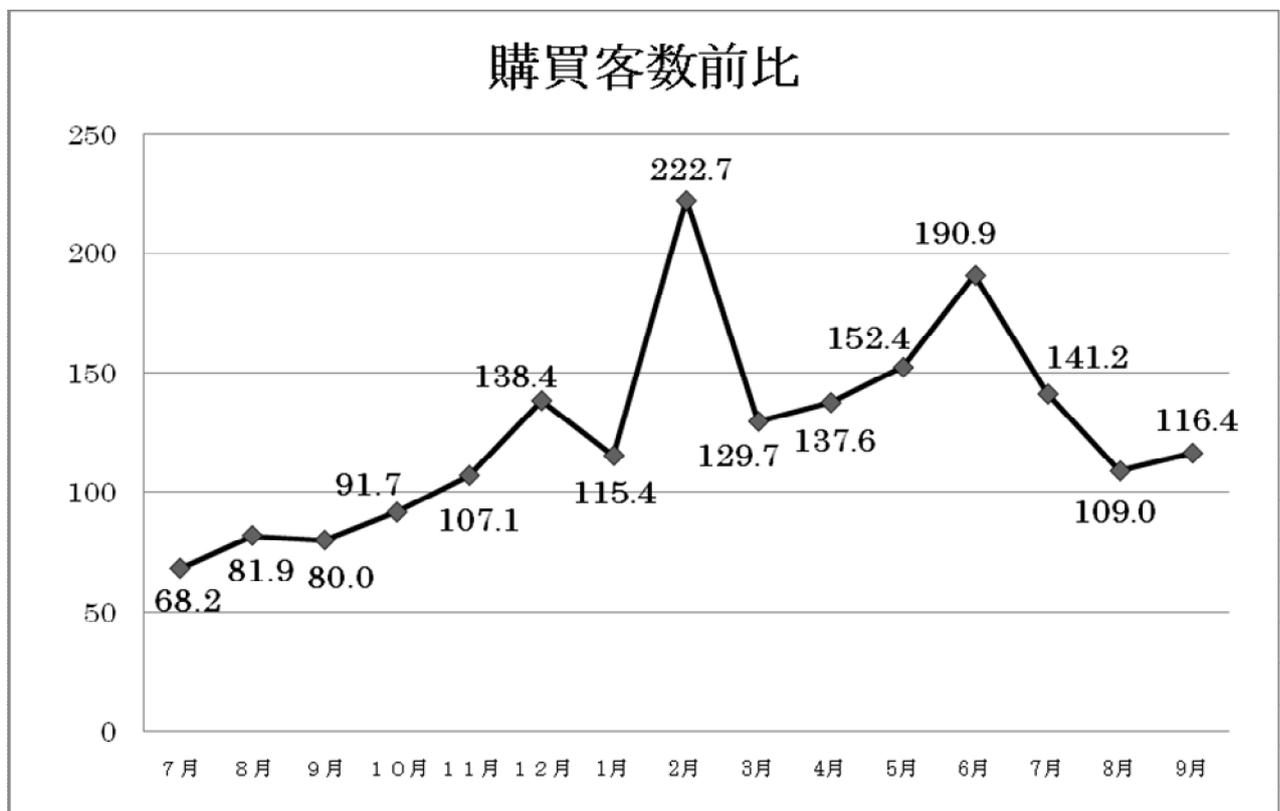
- ◆ 売上、客数とも昨年比を上回り、41店舗中32店舗がプラスに転じた。尖閣諸島問題の影響は感じられなかった。
- ◆ APEC 高級実務者会議が仙台市中心部で開催され、期間中の免税取引額が前年比221%となった。(仙台)
- ◆ 9月28日から10日間、中国語通訳を設置した。10月下旬の常設に向け、現在、採用募集中である。(札幌)  
円高の影響が若干感じられたものの、韓国、アメリカからの観光客の来店数が、特に前年を上回ったので売上が伸長した。(東京、名古屋、大阪)  
今月末は、マレーシアからの団体旅行客が目立っていた。(福岡)
- ◆ ハイエンドブランドの纏め買いが目立っているが、都市部では、この傾向が全体売上を底上げしているように感じる。(札幌、東京、名古屋、大阪)

以上

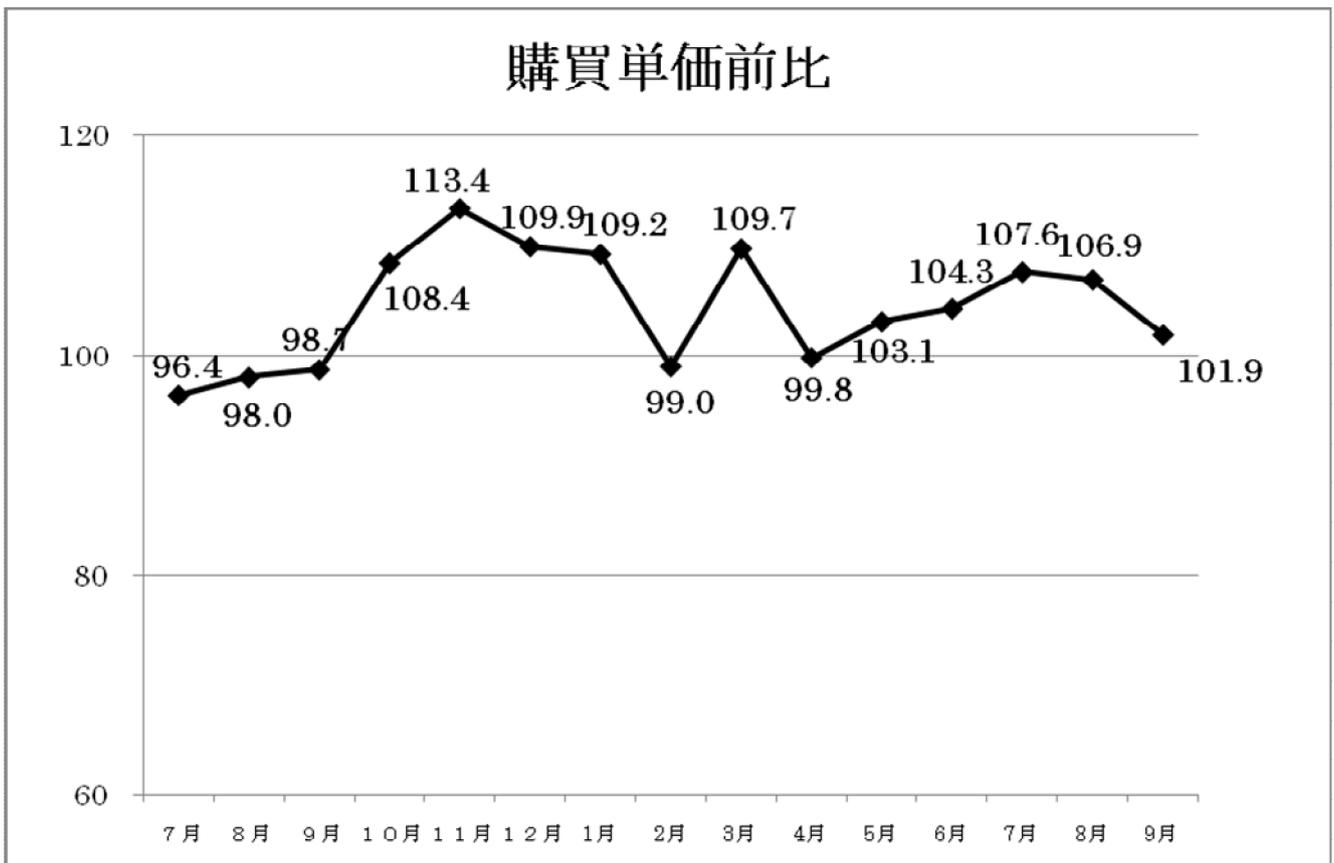
売上前年比 (%)



購買客数前年比 (%)



購買単価前年比 (%)



【お問合せ先】

日本百貨店協会・外国人観光客誘致事業担当（無断転載を禁じます）

TEL：03-3272-1666